

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	国語 II C	
科目基礎情報						
科目番号	12003	科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	機械工学科	対象学年	2			
開設期	4th-Q	週時間数	2			
教科書/教材	「精選 論理国語」「精選 古典探究 古文篇」「精選 古典探究 漢文篇」(三省堂)、「常用漢字の標準演習 改訂版」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)					
担当教員	赤迫 照子					
到達目標						
①読む力: 文法事項を理解し、作品を読解できる。常用漢字が読める。 ②書く力: 論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取りができる。 ③話す力: 適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。 ④聞く力: ポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安		
評価項目1	口頭試問に9割以上正答できる。	口頭試問に8割以上正答できる。	口頭試問に7割以上正答できる。	口頭試問に5割しか正答できない。		
評価項目2	演習問題を8割以上正答できる。	演習問題を7割以上正答できる。	演習問題を6割以上正答できる。	演習問題を5割しか正答できない。		
評価項目3	意見を指定の形式で、かつ説得力ある文章で書ける。	意見文を指定の形式と字数で書ける。	意見文を指定の形式で書ける。	意見文を提出できない。		
学科の到達目標項目との関係						
教育目標 (G) ①						
教育方法等						
概要	第4学期開講。 検定教科書を用いる。評論文を重点的に読み、論理的思考力を鍛える。 原稿用紙の使い方を学び、文章を書く力を付けるために、書写を課題にする。 意見文を書く。					
授業の進め方・方法	教科書本文の読解をする。応用として、評論文の読解演習を行う。内容理解の確認のために口頭試問を行う。 この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習として「演習問題」と「レポート」を課す。					
注意点	・提出物については厳しく対応する。締切を厳守すること。 ・授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、きちんと整理しておくこと。					
授業の属性・履修上の区分						
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	4thQ	9週	ガイダンス 評論1-①	池上嘉彦「記号を使う動物」を読むことで、評論文を読む方法を身につける。 接続語や指示語等に注目しながら文脈を把握することができる。 段落同士の関係に注意しながら、論理の展開や要旨を的確にとらえることができる。 抽象的な事象について、具体例を補いながら読解することができる。 筆者のものの見方や考え方が理解できる。		
		10週	評論1-② 書写	評論文を読む方法を身につける。		
		11週	評論1-③ 評論文の読解演習①	評論文を読む方法を身につける。		
		12週	評論1-④ 評論文の読解演習②	評論文を読む方法を身につける。		
		13週	評論文の読解演習③	評論文を読む方法を身につける。		
		14週	評論文の読解演習④	評論文を読む方法を身につける。		
		15週	(表現) 意見文を書く	意見文を作成することができる。		
	16週	定期試験 試験返却・解説	学習の総まとめをする。			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	

			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合

	試験	レポート	小テスト	口頭試問	合計
総合評価割合	60	20	10	10	100
知識の基本的な理解	40	15	10	10	75
思考・推論・創造への適用力	20	5	0	0	25